

第40回全日本少年サッカー大会北海道大会 札幌地区予選 札幌ブロック予選 開催要項

目的	札幌市の少年サッカーの技術の向上と心身の健全な育成とスポーツ精神の高揚を図るとともに第40回全日本少年サッカー大会北海道大会に進出するチームを決定する。
主催	(公財) 北海道サッカー協会
主管	(一社) 札幌地区サッカー協会、札幌市サッカースポーツ少年団連盟
後援	札幌市教育委員会、(一財) 札幌市体育協会、札幌市サッカースポーツ少年団連盟後援会
期日	札幌地区予選 平成28年9月10日(土) 札幌ブロック予選 平成28年9月22日(木) 24日(土)
会場	札幌市内小学校グラウンド、東雁来公園西グラウンド、SSAPグラウンドなど
参加資格	①(公財) 日本サッカー協会第4種に加盟したチーム及び所属する選手であること。ただし、未就学児の参加は認めない。 ②参加選手は、スポーツ安全協会傷害保険(第1種A)もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。 ③6年生が9名以上登録されているチームは、2チーム以上の参加が可能である。 ④(一社) 札幌地区サッカー協会に所属する、札幌ブロック予選へ参加を希望するチームで、こくみん共済U-12サッカーリーグ in 北海道札幌地区リーグ2016に参加したチームとする。 ⑤選手はリーグ戦の最終節の試合にエントリーされた選手にその資格を与える。
競技方法	① 試合は8人制のトーナメント方式とし、少年用ゴールを使用して行う。 ② 試合時間は、40分(20分-5分-20分)とする。 ③ 勝敗の決定しない時は、いわゆるPK方式(3人)により次への進出チームを決定する。
競技規則	①(公財) 日本サッカー協会制定「サッカー競技規則2015/2016」および「8人制サッカールールと審判法」による。審判は主審・副審(2)、四審の4名で行う。 ②登録できる交代要員および交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。(16名登録のフリー交代) ③試合開始30分前に、ユニフォームのチェックを義務付ける。(フィールドとキーパーで正副4着持参) ④大会において退場させられた者は次の1試合に出場できず、大会期間中に警告を2回受けたものは次の1試合に出場できない。退場の理由・内容によっては、(一社) 札幌地区サッカー協会規律・フェアプレー委員会の判断により複数の試合、または一定期間の出場停止もあり得る。警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。累積はブロック予選に持ち込むものとする。 ⑥試合球は、4号球(検定球)とする。 ⑦スパイクシューズは固定スタッドの物とし、金属あるいはプラスチック製取替スタッドの物は認めない。 ⑧エントリー表と選手証の確認をする。
ユニフォーム	①ユニフォームは(公財) 日本サッカー協会ユニフォーム規定を厳守すること。 ②上衣・パンツ・ストッキングは正のほかに副としてこれと異なる色の上衣・パンツ・ストッキングを携帯すること。 ③審判と類似の色の上衣を用いることはできない。 ④多くの子にGKやFPを経験させるために、 <u>ゲーム中にGKの交替を予定している場合のみ</u> 、GKのピブス着用を認める。
その他	①札幌市サッカースポーツ少年団連盟の活動方針を遵守し、大会運営に積極的に協力すること。参加資格など、その他不都合な行為があった場合、出場を停止することもある。 ②大会のエントリーを取り消す場合は、8月23日(火)17:00までに連絡をすること。追加エントリーは認めない。 ③フィールドサイズについては、68m×50mを基本とする。 ④この大会の札幌地区予選から北海道大会に至るまで、同一選手が異なるチームへ移籍後、再び同一大会に参加することはできない。